

あ い さ つ

青 木 村

おはようございます。

本日、令和7年第4回青木村議会12月定例会を招集いたしましたところ、全議員の皆さんにご出席をいただき、誠にありがとうございます。日頃より皆さんには、村政の運営にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

10月21日に自由民主党の高市早苗総裁が第104代首相に指名され、日本の憲政史上初めて女性の首相が誕生しました。高市内閣の支持率は発足以来、歴代屈指の高水準を維持しています。高市首相は所信表明演説で、「責任ある積極財政」で暮らしや未来への不安を希望に変え、強い経済をつくる決意を強調しました。

一般的には、積極財政は、財政支出を増やすことで消費や投資を喚起し景気を支えられる、雇用創出に繋がる、社会インフラ整備に予算を投じられるなどのメリットがある一方で、財政赤字の拡大に繋がりやすかったり財政の健全化が遅れたりするデメリットもあり得ると言われています。

高市首相が尊敬するマーガレット・サッチャー元英首相のかつての発言「国家が支出を増やすには国民の貯蓄から借りるか増税しかない。『公のお金』などない。あるのは『納税者のお金』だけだ」を引用し、為政者のみだりな財政拡大を心配するメディアの論説に対し、高市首相は「国民の皆様からお預かりしての大切なお金を有効に活用し、安全で安心して暮らせる日本をつくるのが今を生きる私達の未来に対する責任だ」と説明しました。

地方行政からは、地域活性化への期待も高まっております。

さて、今年も残すところあとわずかとなりました。国内の1年間の主なできごとを時系列で振り返ってみますと、

- ・1月 埼玉県八潮市で道路陥没事故発生
- ・2月 岩手県大船渡市で大規模山林火災が発生
- ・4月 大阪・関西万国博覧会が開幕（10月まで）
- ・8月 九州地方で大雨災害が発生
- ・8月 太平洋戦争終戦から80年の節目
- ・10月 初の女性首相 高市内閣発足
- ・前年夏からの米不足による米価高騰→3月より備蓄米放出

- ・春からクマ被害が相次ぎ、死亡者数は過去最多

また、青木村では

- ・3月 国道143号青木峠バイパス関連工事が着工
- ・4月 あおきネットワーク整備事業のあおきチャンネル(テレビ)が放送開始
- ・4月 青木村長、村議会議員選挙の執行
- ・4月 五島慶太翁の日に「慶太伝－立志編－」発刊
- ・4月 村民の憩いの場所「あおきカフェ」を月1回開催
- ・9月 村内の女性が県内最高齢者に決定
- ・10月 五島慶太未来創造館が入場者数3万人を達成

などがありました。

今年度の大きなプロジェクトの1つ「あおきネットワーク整備事業」につきましては、

まず、あおき電話の工事につきましては、現在約1400件の設置工事が完了しており、工事の進捗状況は85%程度になっております。年末までには95%程度まで進む予定であります。総額11億円を超える村をあげての青木村独自の情報インフラになります。是非ご自宅、地域で広くご活用いただき、便利で快適な情報環境を整えていただければと思います。

新しい仕組みでありますので、使い方教室を、地区単位や団体の会合の席でこまめに実施してまいります。来年3月竣工に向けて引き続き、関係者のご協力をいただき推進してまいります。

次に、青木村特産のタチアカネ蕎麦につきまして、昨年が記録的な不作であったことから、収穫量の確保を目指し本年は初めて春播き夏そばに挑戦しました。

春播き夏そばと秋そばの2期作に取組んだ結果、平年並みの収穫量が確保できました。増産に協力いただいた農家の皆さんに感謝を申し上げます。

令和の米騒動につきましては、未だに銘柄米を中心に価格高騰が収まりません。米の作柄は、7月下旬以降の高温・少雨の影響があったものの作況単収指数は「103」で、平年を上回る作柄となりました。消費者が高騰する米価対策に苦心する一方、米農家は約10年ぶりに久々の笑顔が戻った年がありました。

今年、九州を除く全国で相次いでいるクマによる被害は、死亡者も出るなど大きな社会問題となっております。

村ではさっそく、初めてのクマ対策会議を開催するとともに、獣友会のアドバイスをいただき、対策を講じているところです。今議会では、小学校・中学校の子どもたちに、クマよけの鈴を配布する予算を計上させていただきました。

村内にはクマの目撃情報もありますことから、しっかりと対処してまいります。

村内のガソリンスタンドのうち1店舗が、経営者の高齢化と後継者がいないことから、閉店の話まで出ておりましたが、村内の運輸・物流企業の方にお願いして、店舗を引き続き営業していただくことになりました。

ガソリン等は村民の重要な社会インフラですので、安堵しております。

国内の経済動向は、内閣府が11月26日(水)に発表した月例経済報告によりますと、『景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。』としております。

さて、予算編成の時期となりました。

国の令和8年度予算では、歳出全般にわたり、施策の優先順位を洗い直し、予算の中身を大胆に重点化することとされています。

なお、要求・要望については、賃金や調達価格の上昇を踏まえて行い、予算編成過程において、物価上昇に合わせた公的制度の点検・見直しも踏まえ、経済・物価動向等を適切に反映することとしています。

国力の衰退を招く行き過ぎた緊縮財政から責任ある積極財政へと舵を切った高市首相が策定した総合経済対策は総額21.3兆円と、物価高対策や減税に注力した大規模なものとなりました。

11月17日に内閣府から、今年度補正予算として、経済対策の策定指示を踏まえた「重点支援地方交付金」の取扱いについての考え方が示されました。

これによりますと、生活者や中小企業・小規模事業者、農林水産業への支援など、地域の実情に合った物価高対策について、可能な限り年内の予算化に向けた検討を前広に進めていくようにとの指示がありました。

今後の国からの具体的な連絡を待ち、村としての具体的な検討に入りたいと考えております。

県では予算編成方針のポイントを、人口減少など時代の大転換期を迎える中、対話と競争に努め、県民起点・現場重視で、確かな暮らしを守り、ゆたかな社会を創るとの強い意志を持ち、職員相互に協力して予算編成にあたる、としています。

主な項目は、

- ・生産性向上、人材確保等を通じた産業競争力の強化
- ・賃上げ促進、福祉的支援の充実等による家計可処分所得の向上
- ・農地、人材等の総合的な改革による持続可能な農業の実現
- ・病院の役割分担と連携強化による安心・安全な医療提供体制の構築

です。

村でもこれから、来年度の予算編成作業に入ります。

世界的に起きている紛争や気象変動、災害の頻発などが私たちの生活に及ぼす影響も大きく、自分たちの自治体の課題は何か、保有している資源は何か、それを活用して財源にできないか良く考えていく必要があります。幸い青木村は、きれいな水や空気、山林、安全な食材など、自然の恵み豊かな地域であります。目の前の暮らしに対応しつつ、長期的な展望を見据えて、自らの身は自らで守るという姿勢で、戦略を描いてまいります。

物価高による歳出の増加や義務的経費が増加している中、限られた財源をより効率的・効果的に配分するとともに、施策の忠実な推進を図り、元気で豊かなやさしい村づくり、日本一住み続けたい村づくりに取り組みます。

厳しい財政状況の中ではありますが、創意と工夫で最大の効果が得られるよう、役場職員の英知を結集してまいります。

次に、先の9月から本日までの、主な行事等の報告をさせていただきます。

9月8日(月)、「高齢者祝賀事業」による訪問を行いました。

今回、米寿40名、白寿3名、100歳3名、101歳2名、102歳3名、112歳1名、の方々がご長寿のお祝いの日を迎えられました。大正2年に生まれた112歳の宮澤たけ子さんは長野県内最高齢者となり、県からのお祝いも贈呈されました。

皆さんこれからもお元気でお過ごしいただきたいと思います。

9月26日(金)、27日(土)に、『Sparkle(スパークル)～光輝くみんなの個性』をテーマに、中学校のこまゆみ祭が行われました。

ヒップホップダンスは、音楽に合わせてところ狭しと踊る生徒たちの迫力ある表現に圧倒されました。また、フリーフェスティバルは個々の生徒達の個性を大切にした貴重な表現の場となっていて、新しい文化祭のあり方を見せてもらいました。

更に今年も、中学3年生を中心に行われた義民太鼓がすばらしく、青木中学校の伝統がしっかり引き継がれていました。今年の義民太鼓の活動の様子は、新聞にも特集記事として大きく取り上げられました。

10月4日(土)、保育園の運動会が行われました。

みんなが参加しやすい実施時間を考え、賑やかに行われました。年長さんは、今年もお兄さん、お姉さんとしての役割をしっかり果たしており、子どもたちの成長の様子が分かりました。

10月10日(金)、小学校の音楽会が行われました。

高学年の難しい合奏には、全校の子どもたちが手拍子を打って、リズムが取りやすいように応援するなど、子どもたちの気持ちが一つになっていることが分かる音楽会でした。また、ミッキーマウスが出たり、忍者が登場したりと、工夫を凝らした音楽会になっていました。

10月12日(日)には、村民体育祭が行われました。

参加しやすい種目をみんなで考えて実施したところですが、大きな歓声が起き、盛り上がった運動会になりました。終わった後の公民館主事さんの反省会では、「やってよかった」「次回は、年代別リレーを復活したい」などと、積極的な意見が出されました。コロナ禍以降に、地域のまとまりを強める事業が開催できたことは、大きな成果でした。

11月4日(水)、5日(木)には、小学校の6年生が、東京へ修学旅行に行ってきました。

五島慶太翁の顕彰運動に取り組んできたことを受けて、6年生が渋谷の東急を訪れるようになって、4年目になります。今年も、子どもたちは、青木村を宣伝しようと、ポスターや紹介ビデオを作成して、発表してきました。子どもたちが作成したすべてのポスターは、来年3月まで渋谷駅に掲示していただけるとのことです。

今年で10回目を迎える「温泉総選挙2025」に、田沢温泉・沓掛温泉が初参加い

たしました。(投票期間: 8月8日～10月31日)

湯治場の流れをくむ、健康に資する温泉郷がエントリーする「湯治ウェルネス部門」において、大勢の方に投票いただきまして、沓掛温泉が全国第3位、田沢温泉が同じく第4位となりました。

応援、ご協力いただきました皆さんに心より感謝申し上げます。

第21回青木村産業祭・タチアカネ新そばまつりが11月15日(土)～16日(日)の2日間開催されました。

初日にテレビの生中継、ラジオの公開放送が行われたこともあり、たくさんのみなさんにお越しただくことができ、タチアカネの新そばは用意した各日550食が早々に完売となりました。

恒例となりました「青木カラオケバトル」をはじめ、青木村の小中学生が大勢参加するダンスサークルのパフォーマンスなど各種ステージイベントや、青木村内の各団体をはじめ、姉妹都市、友好都市からも会場内を埋め尽くすほどの出展をいただくなど、大盛況のうちに幕を閉じました。

11月18日(火)には、小学校で初めてお仕事ゼミが開催されました。

村内の17の事業所に、小学生に分かりやすく、仕事の内容を紹介し体験できるように工夫したワークショップを開いていただきました。初めての試みでしたが、子どもたちには大好評で、働き手不足が顕著になっている中、将来の自分の夢を持つもらうには大変大事な取組になりました。地域の事業所の皆さんには、感謝したいと思います。

11月22日(土)、上田東急REIホテルで開催された「公益財団法人千曲寮の解散に伴う記念式典」にお招きをいただき、ありがたいことに、村への奨学基金として5,000万円をご寄附いただくこととなりました。

千曲寮は、五島慶太翁が中心となって、信州出身の若者たちが安心して生活を送り勉学に励めるようにと設立されました。翁は自らが苦学した経験、そして教員として働いた経験からこのように着想し、実行に至ったものと思われます。大正7年の設立から107年の間に、多くの未来ある若者がここから巣立って行きました。東京圏に残った皆さんも、故郷信州へ帰った皆さんも、それぞれがそれぞれの場所で活躍されています。皆さんとの深い絆があったからこそ、100年という年月を超えて存続してこられたのだと思います。

寄附金につきましては、青木村の若者たちが未来を大きく描くための奨学基金として活用させていただきます。

11月30日(日)、『慶太伝－立志編－』著者の根本忠一先生を講師にお迎えし、五島慶太未来創造館開館5周年記念企画「可能性を切り拓く未来へ－五島慶太の生地 青木村からの発信－」と題した講演会を青木村文化会館で開催しました。

たとえ生きている時代は違っても、慶太翁の強烈なメッセージは私たちの心に響きます。先生には、慶太翁の真実の姿を伝えていただき感謝申し上げます。

次に、今議会に上程しました令和7年度12月補正予算等の概要について申し上げます。

令和7年12月補正予算の概要について

一般会計 第3号補正予算は、歳入歳出それぞれ3,987万1千円を追加し、総額を34億1,547万6千円とします。

令和7年12月補正予算における一般会計の主な事業は次のとおりです。

歳 入

番号	目	説明	計上額
①	地方交付税（特別交付税）	村営バス運行管理費及び保育所費工事請負費の補正額に係る措置分	590万円増
②	教育費国庫補助金	小・中学校ICT環境整備工事	160万円増
③	農林水産業費県補助金	農地利用最適化交付金 (農業委員報酬増加分)	96万円増
④	〃	松くい虫関連事業（伐倒駆除）	310万円増
⑤	一般寄附金	青木運輸倉庫(株)様より	100万円増
⑥	繰越金	前年度繰越金	2,531万円増
⑦	脱炭素化推進事業債	小・中学校LED化工事	170万円増

歳 出

番号	目	節	説明	計上額
①	財産管理費	積立金	五島慶太翁顕彰事業基金積立金 (寄付者の申出により)	100万円増
②	運行管理費	委託料	青木村地域公共交通計画改訂業務	244万2千円増
③	保育所費	工事請負費	灯油配管布設替え工事	594万円増
④	農業委員会費	報酬	報酬増加分	96万円増
⑤	農業振興費	委託料	原地区現地測量、仮杭設置 他	132万増
⑥	〃	負担金補助及び交付金	水田営農推進機械施設等導入事業 補助金 1件	58万6千増
⑦	林業振興費	委託料	松くい虫関連事業 (伐倒駆除)	620万増
⑧	商工業振興費	負担金補助及び交付金	ガソリンスタンド事業継承に係る 施設改修補助	540万増
⑨	(小学校費) 学校管理費	工事請負費	ネットワーク改修工事追加分	130万増
⑩	(中学校費) 学校管理費	工事請負費	ネットワーク改修工事追加分	130万増
			外灯・誘導灯LED化工事	132万増

以上、補正予算の内容を説明させていただきました。

詳細につきましては、教育長並びに担当課長からご説明致しますので、ご審議の上、ご議決いただきますようお願い申し上げて、あいさつとさせていただきます。